

令和3年度 大阪府立大阪南視覚支援学校

学校教育自己診断の結果について

このたび、児童・生徒・学生の皆さんや保護者・保証人の皆様には学校教育自己診断にご協力いただき、ありがとうございました。

本校では、学校教育改善の方策を明らかにするため、学校教育自己診断を行い、頂いたご意見を学校運営や教育活動に活かしてきました。

アンケート結果は「児童・生徒・学生」「保護者・保証人」「教職員」の3つに分けて集計しました。質問ごとに、今年、過去2年間、各学部ごとの結果を数値化、また今年の結果については「肯定」・「否定」・「わからない」の割合を比較しやすいように帯グラフを作成し、本校の学校運営や教育活動が皆様のニーズに対応しているかどうかなどを比較、検討しました。この診断により、現在の課題が明らかになり、今後の学校運営や教育活動を見直すきっかけになると考えています。

また、この結果をふまえ、学校運営協議会委員の方々のご意見もいただき、学校長の「学校経営計画」に反映させ、今後の教育活動をより豊かなものにしていきたいと思えます。

1 アンケートの方法

「保護者・保証人用」、「児童・生徒・学生用」（小学部児童用、中学部生徒用、高等部生徒用、専修部学生用）、「教職員用」という質問用紙を、令和3年10月に配付して実施しました。

回収率は、次の表のとおりです。

	提出率(%)	昨年度提出率(%)	一昨年度提出率(%)
児童・生徒・学生	71	91	93
保護者・保証人	77	82	90
教職員	96	70	82

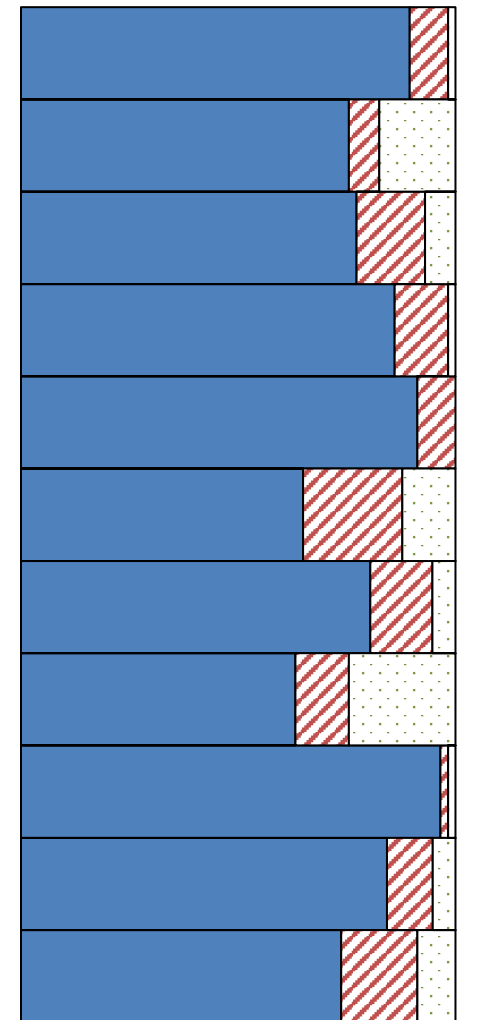
2 評価・集計方法

- i) 小学部児童は、質問に対し「はい、いいえ、わからない」の3段階で回答しました。
- ii) その他は、質問に対し「とてもそう思う、すこしそう思う、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない、わからない」の5段階で回答しました。
- iii) 「はい、とてもそう思う、すこしそう思う」を肯定的評価とし、「いいえ、あまりそうは思わない、まったくそうは思わない」を否定的評価として集計し、グラフで表示しました。

集計結果(児童・生徒・学生)

集計結果(児童・生徒・学生)			R3 肯定	R3 否定	R3 わからない	R2 肯定	R2 否定	R1 肯定	R1 否定	小 肯定	小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	89%	9%	2%	79%	13%	74%	18%	100%	0%	100%	0%	91%	9%	84%	13%
2	進路	一人ひとりに応じた進路学習	75%	7%	18%	58%	20%	54%	24%	14%	14%	50%	0%	100%	0%	87%	10%
3	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	77%	16%	7%	75%	13%	67%	13%	71%	14%	75%	13%	82%	9%	77%	19%
4	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	86%	12%	2%	78%	5%	79%	13%	100%	0%	88%	13%	91%	0%	81%	19%
5	授業	わかりやすい授業の実施	91%	9%	0%	85%	5%	86%	10%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	84%	16%
6	授業	ICTを活用した教育の取り組み	65%	23%	12%	60%	22%	48%	39%	57%	14%	75%	13%	91%	0%	55%	35%
7	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	80%	14%	5%	75%	15%	72%	23%	86%	0%	88%	0%	91%	0%	73%	27%
8	人権教育	いじめなどの行為に対して適切に対応しているか	63%	12%	25%	55%	5%	43%	23%	71%	0%	63%	13%	45%	0%	68%	19%
9	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	96%	2%	2%	83%	10%	86%	11%	100%	0%	100%	0%	91%	0%	97%	3%
10	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	84%	11%	5%	60%	25%	50%	27%	71%	14%	75%	13%	91%	0%	87%	13%
11	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	74%	18%	9%	/	/	73%	19%	86%	0%	88%	0%	82%	0%	65%	32%

肯定的意見
 否定的意見
 わからない



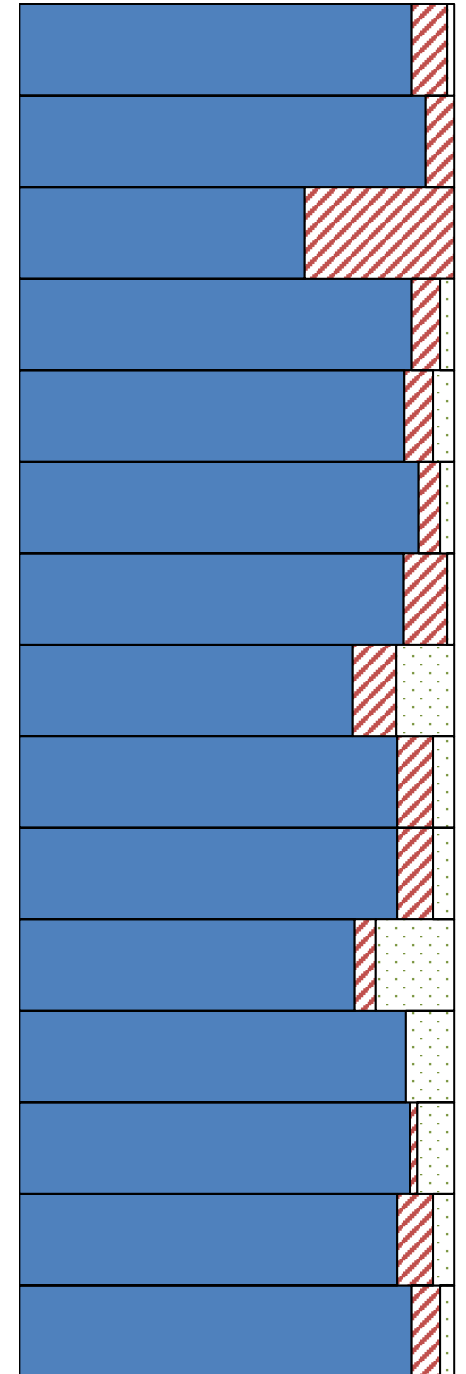
<児童・生徒・学生の集計結果について> ※上表を参照
 ●11項目中、肯定的意見が70%以上のものは9項目(①～⑤、⑦、⑨～⑪)であった。
 ・9項目すべてにおいて、前回より数値があがっている。特に10%以上あがっているのが4項目(①学校全般、②進路、⑨学校安全、⑩学校安全)であった。
 ●肯定的意見が70%を下回るものは2項目(⑥、⑧)であった。
 ・⑥『ICTを活用した教育の取り組み』は、学部による差があり、小学部・専修部で肯定的意見が60%以下となっているが、中学部では75%、高等部では90%という高い数値となっている。
 ・⑧『いじめなどの行為に対して適切に対応しているか』は、肯定的意見は63%であるが、わからないが25%と多く、否定的意見は各学部とも高くはない。
 ※⑪の質問は昨年度実施されなかったため一昨年度と比較した。

<保護者・保証人の集計結果について> ※下表を参照
 ●15項目中、肯定的意見が70%以上のものは14項目(①～②、④～⑮)であった。
 ・そのうち、13項目(②、④～⑮)において、前回より肯定的意見の数値があがっていた。特に、10%以上あがっていたのは3項目(④進路・⑭学校生活・⑮学校生活)であった。前回より数値の下がった①『学校へいくのがたのしいかどうか』についての質問は、今年度も肯定的意見が90%で、小・中学部では否定的意見が0%となっている。
 ●肯定的意見が70%を下回るものは、1項目(③『保護者の学校行事の参加』)であった。新型コロナウイルスの影響で学校での活動が制限されていることも原因の1つと考えられるが、専修部の保護者・保証人の方に学校へ来ていただく機会がもともと少なかったり、遠方に住んでおられたりすることも要因と考えられる。
 ※⑮の質問は昨年度実施されなかったため一昨年度と比較した。

集計結果(保護者・保証人)

			R3	R3	R3	R2	R2	R1	R1	幼小	幼小	中	中	高	高	専	専
			肯定	否定	わからない	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定	肯定	否定
1	学校全般	学校に行くのがたのしいかどうか	90%	8%	2%	96%	4%	85%	10%	100%	0%	100%	0%	91%	9%	80%	16%
2	保護者・保証人との連携	学校による情報の周知徹底	93%	7%	0%	90%	6%	82%	13%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	84%	16%
3	保護者・保証人との連携	保護者の学校行事の参加	66%	34%	0%	63%	6%	64%	36%	85%	15%	83%	17%	82%	18%	40%	60%
4	進路	一人ひとりに応じた進路指導	90%	7%	3%	80%	8%	71%	12%	92%	0%	100%	0%	100%	0%	80%	16%
5	生徒指導	悩みを相談できるシステムの有無や相談できる教職員の有無	89%	7%	5%	82%	8%	75%	12%	92%	0%	92%	0%	91%	0%	84%	16%
6	生徒理解	教職員の幼児・児童・生徒・学生の障がいについての理解	92%	5%	3%	88%	8%	88%	6%	100%	0%	100%	0%	91%	0%	84%	12%
7	授業	わかりやすい授業の実施	88%	10%	2%	85%	10%	79%	9%	100%	0%	100%	0%	100%	0%	72%	24%
8	授業	ICTを活用した教育の取り組み	77%	10%	13%	70%	6%	46%	21%	50%	0%	100%	0%	100%	0%	68%	24%
9	人権教育	幼児、児童、生徒、学生に対する積極的な人権教育の推進	87%	8%	5%	81%	10%	69%	19%	92%	0%	92%	0%	100%	0%	76%	20%
10	人権教育	日常の教育活動における幼児、児童、生徒、学生の人権の尊重	87%	8%	5%	81%	10%	81%	9%	85%	0%	100%	0%	100%	0%	76%	20%
11	人権教育	いじめなどの行為に対して適切に対応しているか	77%	5%	18%	71%	8%	56%	13%	77%	0%	75%	0%	82%	0%	76%	12%
12	教育課程	幼児、児童、生徒の実態に応じた教育課程の編成(専修部以外)	89%	0%	11%	91%	3%	84%	5%	85%	0%	92%	0%	91%	0%		
13	学校安全	地震や火災など非常時の対応方法が適切に教えられているか	90%	2%	8%	81%	8%	84%	9%	83%	0%	92%	0%	91%	0%	92%	4%
14	学校生活	通学路は視覚障がい者にとって安全に整備されているか	87%	8%	5%	60%	27%	77%	19%	85%	8%	92%	0%	91%	9%	84%	12%
15	学校生活	スポーツフェスティバルや文化祭など学校行事が楽しいかどうか(専)学科の行事が有意義かどうか	90%	7%	3%			75%	14%	85%	0%	100%	0%	91%	9%	88%	12%

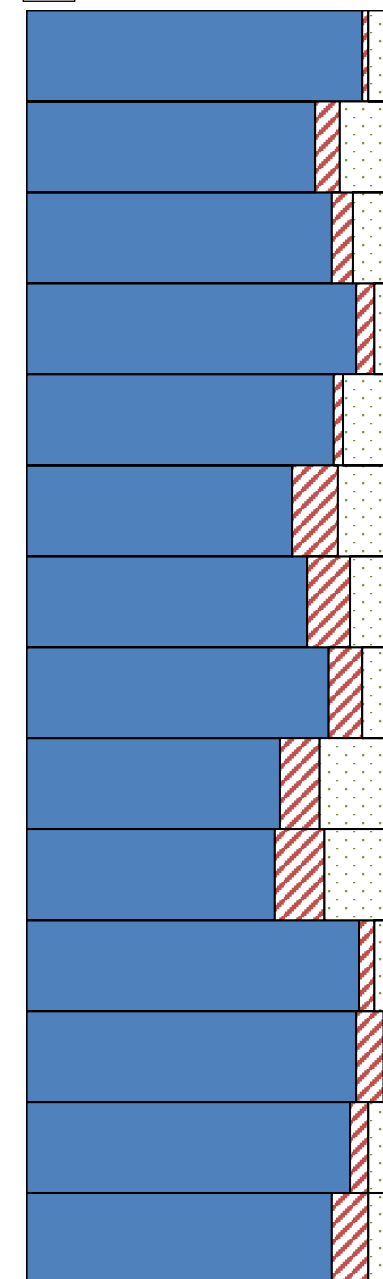
肯定的意見
 否定的意見
 わからない



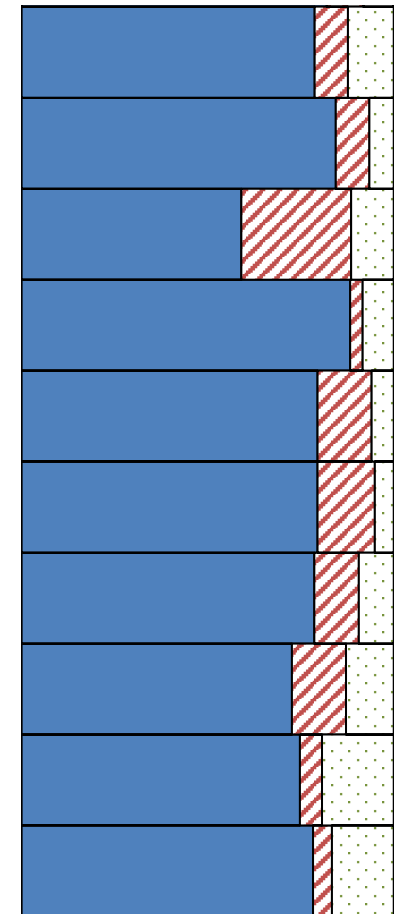
集計結果(教職員)

		R3 肯定	R3 否定	R3 わからない	R2 肯定	R2 否定	R1 肯定	R1 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定
1	保護者・保証人との連携	90%	2%	8%	84%	7%	83%	4%	100%	0%	94%	6%	100%	0%	94%	0%	72%	3%
2	進路	78%	7%	16%	81%	1%	84%	4%	95%	0%	80%	20%	95%	5%	81%	13%	50%	0%
3	生徒指導	82%	6%	12%	88%	8%	77%	9%	90%	5%	94%	6%	100%	0%	84%	9%	56%	6%
4	生徒理解	89%	5%	7%	78%	7%	79%	12%	100%	0%	94%	6%	86%	14%	94%	3%	75%	3%
5	授業	83%	3%	15%	81%	2%	79%	7%	95%	0%	94%	6%	95%	5%	100%	0%	44%	3%
6	授業	71%	12%	16%	65%	12%	67%	10%	75%	15%	94%	6%	95%	5%	69%	28%	44%	3%
7	人権教育	75%	11%	13%	65%	17%	74%	13%	85%	10%	75%	19%	77%	23%	88%	9%	56%	3%
8	人権教育	81%	9%	10%	75%	9%	79%	7%	80%	10%	88%	13%	91%	9%	84%	13%	69%	3%
9	人権教育	68%	11%	21%	66%	7%	67%	11%	60%	15%	94%	6%	86%	9%	69%	16%	47%	6%
10	教育課程	67%	13%	20%	65%	13%	63%	16%	85%	10%	63%	38%	91%	9%			41%	6%
11	学校安全	89%	4%	7%	79%	5%	80%	14%	100%	0%	94%	6%	95%	5%	88%	9%	78%	0%
12	学校生活	89%	7%	4%	71%	13%	69%	25%	100%	0%	88%	13%	100%	0%	88%	9%	75%	13%
13	学校行事	87%	5%	8%	73%	9%	79%	10%	95%	5%	94%	6%	95%	0%	84%	6%	75%	6%
14	学校運営	82%	10%	8%	64%	17%	75%	13%	95%	5%	94%	6%	82%	18%	81%	16%	69%	3%

肯定的意見
 否定的意見
 わからない



15	学校運営	教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に生かしているか	79%	9%	12%	66%	11%	66%	17%	100%	0%	81%	19%	91%	9%	78%	19%	56%	0%
16	学校運営	個人情報適切に管理しているか	84%	9%	7%	75%	9%			95%	5%	88%	13%	77%	18%	94%	6%	72%	6%
17	学校運営	働き方改革がすすめられているか	59%	30%	11%	62%	19%			65%	35%	63%	38%	64%	32%	66%	34%	44%	16%
18	学校運営	校長は、自らの教育理念や学校運営についての考え方を明らかにしているか	88%	3%	8%					100%	0%	94%	6%	86%	10%	100%	0%	68%	3%
19	学校運営	各分掌や各部・学年間の連携が円滑に行われ、うまく機能しているか	79%	15%	6%					100%	0%	75%	25%	81%	19%	75%	22%	74%	6%
20	学校運営	日々の教育活動における問題意識や悩みについて、気軽に相談し合えるような職場の人間関係ができているか	79%	15%	5%					100%	0%	94%	6%	71%	29%	66%	28%	81%	6%
21	学校運営	校内研修は、教育実践に役立つような内容となっているか	79%	12%	9%					100%	0%	88%	13%	81%	19%	75%	22%	65%	3%
22	学校運営	初任者等、経験の少ない教職員を学校全体で育成する体制がとれているか	73%	15%	13%					100%	0%	75%	25%	67%	29%	69%	22%	65%	0%
23	学校運営	教員の間で授業方法等について、検討する機会が設けられているか	75%	6%	19%					100%	0%	94%	6%	81%	19%	88%	6%	32%	0%
24	学校運営	個別の指導計画について、本人・保護者のニーズを踏まえ作成しているか	78%	5%	17%					95%	0%	94%	6%	95%	5%	78%	9%	48%	3%
			R3 肯定	R3 否定	R3 わからない	R2 肯定	R2 否定	R1 肯定	R1 否定	幼小 肯定	幼小 否定	中 肯定	中 否定	高 肯定	高 否定	専 肯定	専 否定	行政 肯定	行政 否定



<教職員の集計結果について>

- 今回から⑱～㉔までの学校運営に関する7項目が追加された。新しい質問は肯定的意見の数値がすべて70%以上で否定的意見は少なかった。
- 昨年度から引きつづきの質問①～⑰のうち、肯定的意見が70%以上のものは14項目(①～⑧、⑪～⑱)であった。
- ・そのうち、12項目(①、④～⑧、⑪～⑱)で昨年度より数値があがっていた。特に10%以上あがっていたのが7項目(④生徒理解、⑦人権教育、⑪学校安全、⑱学校生活、⑲学校行事、⑳学校運営、㉑学校運営)であった。下がった2項目(②進路、③生徒指導)は5%程度の低下となっていた。

- 昨年度から引きつづきの質問①～⑰のうち、肯定的意見が70%を下回るものは3項目(⑨、⑩、⑰)であった。

- ・⑨『いじめなどの行為に対して適切に対応しているか』については、行政で「わからない」が50%程度で、小学部・専修部でも「わからない」が多いため肯定的意見の数値が低い傾向がみられる。
- ・⑩『幼児・児童生徒の実態に応じた教育課程の編成』については、肯定的意見は67%となっており、例年同じくらいの数値となっている。毎年、幼児・児童・生徒の実態が変わる中、各部とも日頃の教育活動について意見を出し合い、できるかぎり幼児・児童・生徒の実態に配慮した教育課程を検討していく。
- ・⑰『働き方改革がすすめられているか』については、小・中・高・専修部すべてにおいて否定的意見の数値が30%を超えている。長時間労働をなくし、年次有給休暇を取得しやすくすること等によって、個々の事情にあった多様なワーク・ライフ・バランスの実現が求められている。引き続き、会議の効率化や定時退庁の励行、ノークラブデイの設定を行う。

令和3年度 学校教育自己診断 自由筆記一覧

学校教育自己診断へのご協力ありがとうございました。お寄せいただいたご意見を項目ごとに、保護者・保証人、児童・生徒・学生の順でまとめ、学部ごとに内容を記載しています。

原則原文をそのまま転記していますが、文法的に表現を改めたところ、内容をわかりやすくするため加筆したところ、さらに内容によっては、省略・修正などをしたところがあります。なお、小学部児童に対しては、「先生にお願いしたいことや言いたいことがあれば書いてください。」として自由筆記の質問をひとつだけにしています（回答は1に記載しています）。

1. 学校のよいところや今後続けていってほしいこと

◎保護者・保証人

★幼小学部

- 家庭では経験できない遊びをしてもらえること。
- いつも、きめ細かいご指導で、安心して学校へ通わせています。これからもよろしくお祈いします。
- 連絡帳で各科目毎の様子を詳細に書いてくださるので非常に分かりやすく、家庭での指導にも役立ちます。
- 子どもはいつも登校できる日を楽しみにしています。先生方は、就学に関しても熱心に相談にのって下さいます。小学校は地域の学校に入学する予定になっていますが、今後も関わってくださるよう、お願いさせていただきたいです。（小学校の支援学級との連携を）

★中学部

- 生徒一人一人にとっても丁寧に接してくださっています。私自身もそうだったのですが視覚支援学校は全盲の方しか通えないと思っていました。もっと視力障がいのある子どもたちが利用できる手段として幅広く周知できたらなあと思いました。
- どの学部の先生方も、みんな気軽に声をかけて下さり、名前も覚えていただいていることにとっても安心感があります。“あいさつ”ってとっても大事なことだと思っているので、この良い雰囲気はどうぞずっと続けていっていただきたいと思います。
- 先生方が生徒達にいつも明るく話しかけて下さるので、学校全体の雰囲気がとても良いと思います。
- よくみてもらっていると嬉しいです。

★高等部

- 生徒一人ひとりに応じた教育、支援をして頂いているので、日々成長し、子供も楽しく学校に通っています。感謝しております。
- 通学路の安全面を考えて、外部に連絡をして下さったり、今年はいろいろと助けてもらいました。ありがとうございます。今後も宜しくお祈い致します。それから、道にはみ出していた草をさっそく刈ってくれたこともありがとうございました。
- 一人ひとりのニーズを考え、寄り添って下さっていると、いつも思います。今後も本人の意思を尊重し、夢に向かって歩んでいる子供達のカになって欲しいと思います。
- 担任の先生に限らず、教科や学年をこえてたくさんの先生方が子供に寄り添った指導をして下さっていることにとっても感謝しています。進路活動についても担任の先生や進路の先生がいつも保護者の親身になって連携をとって下さっているので、安心して進めることができました。
- 授業も個別でももらえる教科も多く本人にも昔にくらべるとやる気が出てきたような気がして親としてうれしく思います。
- 先生方が子供のことをよく考えて毎日楽しく明るく接してくれているところです。子供のいいところを引き出して授業をしてきています。

★専修部

- ・充実した日々が送れる。

◎児童・生徒・学生

★幼小小学部

- ・いつもありがとうございます。

★中学部

- ・学校には、いじめる人がいない。

★高等部

- ・思いやりや大切にしているところや、生徒に対する配慮がとてもよいのでこれからも続けていってほしいです。
- ・授業に雑談を少し入れてくれたりしてとても楽しいです。あいさつがさかんなのがいいと思った。給食がおいしいです。
- ・給食がとてもおいしいです。先生たちがみんな優しくていろいろ教えてくれて僕はうれしいです。
- ・教員一人ひとりが親身になって生徒一人ひとりにきちんと寄り添ってくれるところ。

★専修部

- ・充実した日々を送れる。
- ・比較的あたたかい。
- ・歩きやすい廊下。学生一人ひとりの配慮をこれからも続けていってほしい。
- ・少人数で、どの学科も個々に応じた授業や生徒が、他の一般校よりも先生との距離感が良い意味で近いと思うので、環境が整っていると思うので、そこはすごくこの学校の良いところだと思う。しかし、各学部の先生方がその環境に対して全く対応できないように僕は感じます。生徒や学生さんのことを、もう少し第一に考え、自分の置かれている立場よりも、優先していただけるような先生方がこの先増えていけばと僕は願っています。

- ・柔整科のさらなる発展を期待しています。(PR 動画などでどんどん宣伝してください。)
- ・スポフェスや文化祭で友達と会えるから、続けていってほしい。

貴重なご意見をたくさん頂戴し、ありがとうございます。

- ・多くの教員が子どもたちに寄り添った指導や配慮をしていると受け止めてくださっていることに安堵するとともに、今後とも、一人ひとりの教育的ニーズに応じた適切な指導・支援ができるよう努めてまいります。
- ・地域の小中学校で学ぶ見えない・見えにくい児童生徒への支援や情報提供を行っておりますが、本校の存在や本校からの支援について、必要な情報がさらにきちんと届くよう、市町村教育委員会とも一層連携してまいります。
- ・通学路の安全については、担当教員が毎月点検を行っており、不具合については大阪市の担当部局に連絡し修繕依頼をしています。先日も学校前の樹木の伐採や、学校周辺の点字ブロックの修繕などをしていただきました。今後とも、お気づきの点がありましたら、お申し出ください。
- ・学校給食は栄養補給だけでなく、食育の観点からもとても大切なものです。今後とも安全でおいしい給食の提供に努めてまいります。
- ・専修部各科の教育内容の充実と、理学療法科や柔道整復科という他府県にない学科の情報発信に努めてまいります。

2. 学校教育をよりよいものにするためのご意見・学校教育自己診断票についてお気づきの点

◎保護者・保証人

★幼小小学部

- ・朝の登校時間も門を全開にしてほしい。点字ブロックを歩かせると門にぶつかります。あと、雨の日に傘が通りにくいです。

- ここに書くことか、分からないのですが、寄宿舍の入舎に関する事など、どこに意見をしたら良いのか、分かりません。また、そういう機会がないので設けて欲しいです。

★中学部

- ICTの授業などをもっと増やしてほしい。出来ることをするのではなく、一つ上の課題や授業でもっと伸ばしてもらいたいと思う。
- 教育とは違うかもしれませんが通学バスが今少ししんどいようです。邪魔にならない程度にBGMを流すなどはできないでしょうか…？

★高等部

- コロナ禍でも今年は無事スポフェスが開催できて本当によかったと思います。反面、仕方ないとはいえ参観なしだったのが、とても残念でした。写真やビデオ上映などで少しでも当日の様子を知る機会があればうれしかったと思います。
- 視覚障がい者は他の障がい者に比べて一人で出来ることが少ないような気がしていたのですが、この学校に来て子供が自立していく様をみると先生方やお友達にいろんな刺激を受けて自信につながっていたのかなと思います。これからの道のりが長くて大変だと思いますけど、この学校生活を思い出して頑張ってもらえたらと切に願います。
- 今はコロナで生徒達が校外に行けないので、おさまったら校外で学べることをたくさん学んでほしいです。

◎児童・生徒・学生

★高等部

- すべていいと思いました。

★専修部

- 理療の指導方法を未来志向にしては（今は昭和のイメージ）
- 生徒や学生さんの悩み相談の件の連絡は、たとえ少人数だからといってみんなの前で話す必要は絶対にありません。個人個人を別室に呼んで話を聞くなどの工夫がないといけません。クラスの雰囲気をよくす

ることを第一に考えていただきたい。また、普段の授業では、特に専修部の学生さんは、墨字を使っている人、点字を使っている人、デイスリー（フレックストークなどの音声機器）を使って授業を受けている人がいて、授業の受け方は、墨字・点字・デイスリーを使う人など様々です。ここは視覚支援学校です。何を使っても誰も困らない平等な環境を、もっと各学部の先生方が築いていかないといけない。平等な環境を作るといふ心掛けや意識の高さを、この学校の先生方が察知しないといけない。

- 本校をよりよくするための貴重なご意見や具体的な提案をいただきありがとうございます。
- 正門を全開にすることにつきましては、ご意見をいただいてすぐに対応いたし、受付員がいる時間帯は門を全開にしております。
- 寄宿舍入舎に関するご相談がある場合は、担任を通じてお申し出ください。内容により、各部や寄宿舍担当者等でお伺いします。
- ICTを活用した授業については、国のGIGAスクール構想の事業で、府立支援学校にも児童生徒一人1台の端末が整備され、今後、運用が始まります。それに合わせて、各教科でのICT活用の取組を検討してまいります。
- 通学バス内のBGMにつきましては、ラジオや音楽などを適宜流していると聞いておりますが、お気づきの点がありましたら、お申し出ください。
- コロナ禍で生じた学校行事の制約に、ご理解・ご協力いただき、ありがとうございます。直接、参観いただけない場合の代替策につきましては、個別に検討してまいります。
- 専修部の授業について、墨字・点字・デイスリーなど、何を使っても困らない環境づくりは必要です、そのように努めます。